

■日時 令和4年8月16日(火) ■天候 晴れ

クラーク記念国際高校 熊本・通 対 川崎市立橋高校

■球場 駒沢硬式野球場 第2試合 2回戦

■試合時間 2時間43分 ■備考

■審判 球審:清水 塁審:小松 栗村 須田

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9						計	安	失
クラーク 熊本	西九州・熊本	0	0	0	0	0	0	0	5	1						6	3	2
橋	神奈川	0	0	0	0	0	0	0	11	×						11	9	5

クラーク 熊本

	ポジション		氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	8	9			
1	中	二	西村 浩翔	4	2	1	0	三振		四球			三振	右2		三振				
2	二	遊	高木 永遠	4	1	1	0	三振		二ゴ			右安	遊失		死球				
3	遊	投	田尻 悠斗	5	1	0	0	三ゴ		二飛			三振	左失		二飛				
4	投	中	河端 峻平	5	1	1	1		三振	三振			三振	中2		三振				
5	捕		松下 太陽	3	1	0	0		投飛	三振			一ゴ	*1						
6	左		村本 朝陽	3	0	0	0		死球	三振			三振	一失						
7	三		平井 佑樹	3	0	0	0		三振			三振	三振	四球						
8	右		京 卓音	4	0	0	0			三振	三振			三振	三振					
9	一		西部 聡音	3	0	0	0			四球	投ゴ			捕飛	二ゴ					
合計				34	6	3	1	残塁:6 併殺:0												
備考				*1は申告敬遠																

■バッテリー

投手	捕手
河端 峻平	松下 太陽
田尻 悠斗	
河端 峻平	
田尻 悠斗	

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責	投球数
河端 峻平	3	1/3	15	1	3	0	63
田尻 悠斗		2/3	1	0	1	0	8
河端 峻平	3	0/3	12	3	6	0	52
田尻 悠斗	1		14	5	2	6	48

橋

	ポジション		氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	8			
1	捕		矢部 和真	4	2	3	0	四球		捕飛	左2			左3	中安				
2	二		三浦 翔	1	2	1	2	四球		四球	四球			四球	左2				
3	一		松岡 幸騎弘	3	1	0	0	死球		三振			遊飛	死球	捕飛				
4	投		三浦 翼	5	2	3	2	一飛			遊安	右3		三失	左安				
5	遊		大石 優希	3	1	1	2	投ゴ			投犠	三振		死球	三安				
6	中		小森 愛里	3	1	0	1		三振		四球			三振	捕犠	三振			
7	三		吉田 侑生	4	1	1	0		遊ゴ		三振			三振	左安				
8	右		間瀬 智紘	3	1	0	0		三振			三振		遊ゴ	死球				
9	左		小俣 愛斗	3	0	0	0			死球	三振			三振	三振				
合計				29	11	9	7	残塁:7 併殺:0											
備考																			

■バッテリー

投手	捕手
三浦 翼	矢部 和真

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責	投球数
三浦 翼	9		40	3	19	0	144

■戦評

大会2日目、駒沢オリンピック公園硬式野球場で行われた第2試合は2回戦、初出場の西九州地区代表クラーク記念国際高校・熊本・通信制と1回戦で東近畿地区第2代表奈良県五條市立西吉野農業高校との試合を5回コールドで制した神奈川県代表川崎市立橋高校の対戦となった。1回裏クラーク記念国際・熊本の先発河端は制球が定まらず3連続四死球でピンチを迎えるもキャッチャーの好守備もあり無失点に抑える。河端は2回以降走者を出すものの要所を抑え7回まで3安打無失点の好投。一方橋のエース三浦翼は毎回奪三振の好投で7回までクラーク記念国際・熊本打線を完全に抑え試合は両チームエース同士の投げ合いで進んだ。8回表クラーク記念国際・熊本は1番西村と4番河端の二塁打に敵失を始めて5点を奪い試合を有利に進めるかに見えた。だがその裏クラーク記念国際・熊本2番手として登板した田尻が橋打線に捕まる。橋は1番矢部の三塁打を皮切りに打者15人の猛攻で11点を返し一気にクラーク記念国際・熊本を突き放す。クラーク記念国際・熊本は最後まで粘り強く戦ったが最終回に1点を返すのがやっとで力尽きた。終盤の逆転劇で橋が11-6でクラーク記念国際・熊本に勝利した。